

今年度刊行『現代資料編』  
～掲載予定資料の筆写作业から～

市史編さん室では、今年度に市史続編の第2巻目となる『現代資料編』を刊行します。編集作業も大詰めを迎えていますが、今回は、掲載する資料の筆写＝活字化作業を紹介します。

現代資料編には、戦後の相模原に関する文書（文字）資料を収録します。主に敗戦から占領、戦後改革、相模川や畑地の開発、基地をめぐる動き、工場誘致と産業の振興、急激な都市化、市民の生活や活動などの文書です。掲載候補として約2千点の資料が選び出されましたが（**上写真**）、さらに精査されて、400～450点を掲載した、1,000ページ程度の資料集となる予定です。

文書は、市役所をはじめ県や国の機関などで作成されたもの、企業・団体や個人の文書など様々です。多くは手書きやタイプライターで作成され、作成当時の原本やマイクロフィルムで保存されています。これらの原資料を、行数や文字の配置などの体裁をそろえ、一定の本の原稿とするのが、筆写作业です。

この作業は資料を読みながらパソコンに入力をしてしていますが、パソコン用OCR（自動読み取り）ソフトとスキャナーも活用しています。文書自体がタイプ打ちされたものについては、ほぼ読み取ることができます。この方法では、資料を読み込ませ、パソコンにデータとして出力、後は誤字等の修正をするのみとなり、作業効率が格段に向上しています。

また、これらの資料を掲載するにあたっては、文書の作成者・所蔵者の許諾が必要になります。8月中旬から関係各機関に対して、必要な手続きを行っています。今後は、印刷・製本に向けての調整・校正作業などが続きます。



## 市史編さん審議会委員を委嘱

市史編さん審議会委員の2年間の任期満了に伴い、平成19年7月31日付で、以下の10名の方々に委嘱しました。

(五十音順・敬称略)

氏名	所属・役職等
家永 正大	市民公募委員
岩橋 清美	東京都公文書館
白井 宏尚	神奈川大学理事長
高橋 順一	桜美林大学大学院教授
永田 基浩	市民公募委員
畠山 民子	青少年指導員
樋口 雄一	元神奈川県立公文書館郷土資料課長
藤川 まなみ	桜美林大学准教授
松崎 笙子	女子美術大学名誉教授
山下 義幸	明治大学特任教授



委員へ委嘱状を交付

委嘱式は8月22日に開催され、加山市長から各委員に委嘱状が手渡されました。審議会の委員は様々な分野の学識経験者と市民公募委員で構成されています。

当日は委嘱式に引き続き、第1回の審議会が開催され、正副会長の選出が行われ、会長に山下義幸氏が、副会長には高橋順一氏が選任されました。その後、今年度の市史編さん事業や各専門部会の実施状況について話し合われました。



## 収集資料から

### 昭和40年代以降の社会教育関係資料

先日、上溝にお住まいの方から寄せられた資料です。総計約500点にも及ぶ社会教育関係の資料ですが、公民館報や講座のレジュメやまとめ誌、他市の社会教育機関が発行した資料など、主に昭和40年代以降の相模原の社会教育の動きがわかる内容です。

目録化を行い、今後の市史編さんに活用する予定です。



公民館などの講座のまとめ誌の一部

## 市史編集委員会を開催

平成19年8月4日に、今年度第1回の編集委員会を開催しました。

事務局から、相模原市史続編編さん年次計画と昨年からの事業の実施状況を報告し、各専門部会からはそれぞれの活動内容が報告されました。今年度「現代資料編」を刊行する予定の近現代部会からは、資料編は8章からなる構成で、現在2千余点選ばれた資料を400～450点にしぼりこむべく資料の選定を行っている旨が報告されました。また、来年度発行予定の「自然編」についても調査を進めていること、秋頃から徐々に執筆の準備に入っていくことなどが報告されました。また、本編以外の付帯刊行物について、『相模原市史ノート第5号』以外は今年度の刊行予定はありませんが、来年度は、『調査報告書』の刊行を考えていることを報告しました。



## 市史講演会「相模原の民俗 —その特色をどう見るか—」を開催

平成19年7月21日（土曜日）の午後、相模原市立博物館大会議室で開催しました。

講師に小川 直之さん（市史編集委員会民俗部会部会長・國學院大學文学部教授）をお迎えし、盆の砂盛り、摘み田、ドンド焼きなどの民俗行事について、市域での差異に注目しながらお話をいただきました。



参加されたおよそ100名の方は、「神奈川県民俗分布地図」などが掲載された配布資料を興味深く見ながら、熱心に聞いていました。



次回の講演会

### 「建築文化からみた相模原と津久井」



日時：平成19年11月24日（土曜日）午後2時～4時（開場午後1時30分）

会場：相模原市立博物館 大会議室（横浜線淵野辺駅下車徒歩20分／路線バスもあります）

講師：清水 擴さん（市史編集委員会文化遺産部会部会長・東京工芸大学教授）

対象：どなたでも / 受講料：無料 / 定員：200人（当日先着順）

## 相模原市史関係の新しい刊行物です

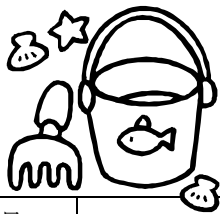
「相模原市史ノート第4号」（写真左） 価格600円

「相模原市史調査報告書1 旧石器時代遺跡

資料調査報告書」（写真右） 価格1,400円



市史編さん室事務局・市立博物館・各行政資料コーナーにて販売しています。



## 編さん室の動き (7月～8月)

月	日	内 容
7	3	「市史編さんだより第37号」発行 民俗編資料調査(下溝個人宅)
	6	市史編さん審議会委員の公募委員選考委員会開催(2ページに関連記事)
	13	近現代編資料調査(相模川第一漁業協同組合)
	14	近現代部会分科会開催
	21	民俗部会開催/近現代部会開催 市史講演会「相模原の民俗」開催(3ページに関連記事)
	31	歴史的公文書の引継ぎ(城山総合事務所)
	随時	現代資料編掲載予定資料の筆写作业(1ページに関連記事・8月にも実施)
	8	1
4		編集委員会開催(3ページに関連記事)
15		現代資料編に掲載する資料の許諾申請事前調査(県立図書館ほか17日にも実施) 畜産振興協会から資料借用
17		近現代編資料調査(農林水産省農林水産政策研究所)
22		市史編さん審議会委員委嘱式・会議開催(市役所)(2ページに関連記事)
23		気象観測計器設置(市内小学校8か所) 神史協研修会に参加(横浜開港資料館)
24		文化遺産編資料調査(県立図書館)



以下の刊行物を販売しています。お求めは、市史編さん室・市立博物館・各行政資料コーナーへどうぞ。なお、送料実費負担で配送の取扱いもいたします。

刊行物名	価格	大きさ・ページ数	刊行時期
相模原市史現代図録編	1,500円	A4判・296ページ	平成16年11月
相模原市史第1～7巻	各1,900～4,500円	B5判・598～842ページ	昭和39～47年
相模原市史ノート創刊号～第4号	各350円～700円	A5判・102～127ページ	平成16年～毎年3月
旧石器時代遺跡資料調査報告書	1,400円	A4判・57ページ	平成19年3月

## 「さがみはら市史編さんだより」第38号

発行 2007(平成19)年9月1日

編集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19(市立博物館隣り)

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8039

E-MAIL : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp

ホームページ : <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp> (相模原市トップページ)

(市のプロフィール⇒市史編さんについて、または観光・文化⇒市史編さん の順でご覧になれます。)

